

平成22年1月27日

各位

上場会社名 株式会社 シンプレクス・テクノロジー  
 代表者 代表取締役社長 金子 英樹  
 (コード番号 4340)  
 問合せ先責任者 執行役員 澤田 正憲  
 (TEL 03-3278-6750)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	14,500	3,030	3,000	1,810
今回発表予想(B)	13,900	3,030	3,000	1,810
増減額(B-A)	△600	—	—	—
増減率(%)	△4.1	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	11,942	2,522	2,484	1,189

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	14,500	3,030	3,020	1,830
今回発表予想(B)	13,900	3,030	3,020	1,830
増減額(B-A)	△600	—	—	—
増減率(%)	△4.1	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	11,942	2,520	2,513	1,219

## 修正の理由

売上高につきましては、FX取引システムを中心としたインターネット取引システムの売上が好調な一方で、金融機関のディールリングシステムに対する投資意欲の落ち込みや保守に対する減額交渉の影響を受け、前回公表いたしました業績予想を6億円下回る見込みです。

一方、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、当第3四半期までに、売上減少に伴う外注工数の減少に加えて、販管費の削減を推し進めたことで、既に約5億円のコスト削減を実施しております。引き続き工程管理・原価管理の徹底による原価の削減を図るほか、全般にわたるコスト削減を推し進め、前回予想の達成に努めます。

なお、通期個別業績予想の修正理由は連結と同じです。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、実際の業績は異なる結果となることがあります。

以上